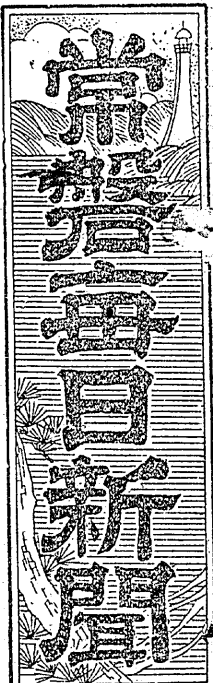


刊夕 日一月九



成辰戦役の回顧

平陽 老人

薩南鹿兒島の海岸に青苔滑かなりし官軍の墓所……拔刀隊舊平藩士桑原以一等の……を訪ひては感々として涙を催ふし歩を山口に回らし其公園に上り茲に蘆々として駢立したる毛利一門の八基の銅像を仰ぎては轉た我心臓の鼓動を覺えたる事ありしは夫は我尙壯かりし日の事にてありし、然も

薩南鹿兒島の海岸に青苔滑かなりし官軍の墓所……往せる感懐の更に湧來る如きものあるは翁媪の昔語りが幸く我耳底に残り居る爲でもあらう。

平藩の關係したる成辰の戦役は藩士永野宗助氏を首班として白河に派遣せられし二隊が閏四月二十日を以て會津藩と銃火を交へしを

震災後の思出

在城山 六八 翁

- 一、今も尙、烟迷へり飯田町。焼けて落ちしか、橋も見えなく(九段)
- 二、ありし日の、都はこゝか、焼ほこり。瓦の原の、うちかすむなる(神田)
- 三、ありし世の、さかえしちまた、焼けはて。野末に高し淺草の寺(萬世橋)
- 四、やけのこる、煙にむせぶ、人おほく。はかなの跡を今日行くか(同)
- 五、もえのこる、煙も人もさ迷ひて。花の都は、荒野なりけり(日本橋)
- 六、幾度か、我逢ひにけり、尋ね人。其名をせなは、旗にしろすよ(兩國橋)
- 七、川水も、つゝむほほのほに、湯となりて。浮むむくろは瀬を埋めけり(本所)
- 八、幾萬の、活の命の、失せしてふ。焼野のみやこ、見るもうたてし(同)
- 九、焦熱の、ちまた逃れて、翁媪。笑めるも淋しなるのふるたび(西原避難場)
- 十、火宅をば、逃れし人の、火の車。何地行くらん、心空にも(日暮里驛)

定価一冊五円
 廣告料五號十二字第一行五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

以て其序幕とし爾後此ヒルムは甚だ緩く尙又徐々とし線られ居りしが然して俄に急に急に巻かれて大詰となり、藩士は我郷土を去つてつぶさに其困苦を嘗めたるものなりしが事の原因や経路か如何にあらふとも到達

飯櫃はへちま東子に石輪をつげ更に磨粉をつけて磨くとよい

せし現實は何處迄も我胸裡に快感を興へたものではな

最近公にせられた會津成辰戦史なるものを繕くに白河の争奪戦に於ける我磐城諸藩に關するものは僅に之ありといふに過ぎざるを以

て主幕たる奥羽諸藩の聯合後の進展した我郷土方面に於ける追逐の戦史を此中より拾讀して順次之を掲記する事とする之は當時の事實を研究する助ともなるべく此新著を手にした人も極め

て妙いと思ふからでもある以下は即ち會津成辰戦史の抜書其者で割書丈は之を省略した。

平野 高野 堂島 澤野 前易 断定 地所 象

九月三日辛未五先勝閉る【一白】營業取引や約束條件に損害を蒙る事あれば退き守るに吉【二黒】我身變動の來す日轉職轉移等約の約束は今日凶【三碧】金銭問題より家内不和を起す事あれば長男長女の怪俄にも注意【四綠】金銭問題で目上と意見衝突を起す事あれば謙遜以て吉【五黃】運氣滯滞の事多れば進むに利あらず退き守るに利あり【六白】營業の奔走を要するか金談縁談のあるも本日は約束凶となる【七赤】我が望事の達する大吉なり目下の者の怪俄と婦女子の口舌に注意【八白】病氣怪俄紛失盜難に注意して現狀維持が吉なり【九紫】外見吉でも内心に苦勞を起ることあれば水火の難に注意なさい

【朝】みそ汁……じやがいも
 【晝】焼き肴鮮魚……バター焼
 さしろうり 三杯酢
 【晚】白ごま酢あへ……たゞ
 きごぼう 白ごま酢
 あへ

品質第一
 電話二六八番
平搾乳所
 平町・九品寺前

美味で！
 評判の……
 イワキ
サロソ
 電 352

時代ハ有價證券デス
 手輕ナ理想的六分五厘配當當社ノ御利用ヲ乞フ。
 簡單ニ金融モ致シマス。
 各地出張所代理店募集。
 高級社員招聘
帝都證券株式平支部
 平町白銀町松崎ビル内
 東京モリス會社トハ全然別會社ヲ關係有リマセン
 誤解ノ無イ様願ヒマス。

耳鼻咽喉科 専門
鈴木醫院
 醫學士 鈴木 正男
 平町田町(電話五八番)
 藤田女學校前
 (入院のお需めに應ず)
 (自炊の便あり)

佛具の御用は……
 まづ 榊屋へ!!!
 御佛壇 御位牌 佛具類 **奉仕値大特賣**
 ◎御位牌の戒名もお書き致します
 平町二丁目 **榊屋家具店**

親切確實は
正木織物店ノ生命也
 絹織物ハ正木織物店へ
 開業二十五週年を祝するため
 二割引にて大々的勉強御註文に應ず
 御註文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス
 平町字新町貳貳番(公園下)
 白生地 賃織販賣 **正木織物店**

外務社員採用
初任固定給 月三十圓
 二十五才以上男女を問はず
 履歷書携帶左記へ面談。毎日午後。
 平町田町一七
 レストランサロソ方
 仁壽生命平駐在 **吉田仁三郎**
 電話三五二番

郡下青年

出場選手

十日の体育大會を

勇躍して待つ

既報来る九月十日磐中グラウンドに於て開催される第十回石城郡青年團体育大會の出場申込み期日は昨日迄の處申込み分圓は四十三分圓中十三分圓に過ぎないので止むを得ず前日迄受附ける事になつたが各分團の出場選手は左の如くである

- △百 米
 - 平柏原武三 小名草野仁
 - 内郷中井川明 大浦渡邊
 - 義衛 四倉大川三郎 小川長谷川一郎
 - △四百 米
 - 山田大平登 平豊島豊
 - 内郷寒河江武雄 大浦高

- △千五百 米
 - 植田佐川通 山田下山田
 - 清正 平五十嵐正一 内郷小貫新一 箕輪高萩芳
 - 松 大浦根本清 四倉高野武彦 小川茶野益延
 - △一萬 米
 - 平野口一 豊間鈴木善吉
 - 内郷工藤一郎 大浦丹野治 小川渡邊照
 - △走 巾跳
 - 入遠野清井三治 平佐藤兼介 小名濱草野仁 内郷川又多三郎 大浦渡邊義衛 四倉鈴木金平 小川

- △千 米 瑞典繼走
 - 柏原武三 橋本正雄 山野邊二郎 豊島豊(平)
 - 鈴木武雄 中井川明 加藤鐵兒 寒河江武雄(内郷) 高崎高義 若松万造
 - 渡邊義衛 丹野清(大浦) 佐藤定翁 大川三郎 柳原兼松 押田留治(四倉) 田久虎雄 新妻英高 鈴木八郎 長谷川一郎(小川)
 - △劍 道
 - 川

- △砲 九 投
 - 平佐久間芳夫 内郷西牧情富 大浦丹野清 小川佐藤芳男
 - △俵 擔 ぎ
 - 平中條清 内郷永山源一 大浦鈴木熊吉 小川柳内五郎

- △柔 道
 - (植田)坂本喜 長江定一 (山田)佐川佐司馬 秋山良平(平)遠藤秀夫(内郷) 根本馨(赤井)畑谷義夫 鈴木幸(澤渡)三瓶貢(大浦) 植本四郎 酒井福太郎(四倉)押田正光 猪狩勇(小川)大森又平 松本理平
 - (平)推保美 阿部兼千代 (内郷)草野一郎 鈴木正吉(四倉)濱田牛藏
 - △相 撲
 - (平)鈴木又四郎(豊間)田中芳太郎 鈴木福太郎 (内郷)森重喜 高橋強 (四倉)前林與助

産業機關總動員

指導方針を確立

勿來町で毎月一回協議

石城郡勿來町では産業指導方針の確立を圖る爲め町役場、各區長、信用組合、養蠶組合、其他産業關係機關を總動員して毎月未會合し翌月の産業指導方針を決定する事となり第一回の協議會を昨卅一日午前十時より小學校に開き左記を協議した

- 一、農事視察の件
- 一、稻の收穫の件
- 一、馬鈴薯獎勵の件
- 一、果樹栽培獎勵の件
- 一、生柿共同出荷の件
- 一、病虫害驅除豫防の件
- 一、眞綿講習會の件
- 一、米の生産統計の件

縣下製氷

平町で總會

本縣下製氷工業組合の臨時

郵便貯金

現在高

石城郡内に於ける昭和七年度末の郵便貯金現在高は人員十萬二千七百卅六人、金額八百六十五萬四千六百四十五圓にて是れを前年に比較すれば人員二千八百八十三人、金額廿萬九千九百卅四圓の減少である因に平町各局扱の分左記の如くである

- 本局 三、三五、二圓
- 新川町 三、八、八圓
- 紺屋町 一、六、四圓
- 胡麻澤 二、八、九圓

貧困四百五十名に

助成會が金を給與

總會は本月七日午後一時より、本町モートル樓上に開會、取引値の協定其他を協議し翌八日には自動車に分

農産物の輸送に

手落なき打合せ

下り氣味

四倉商相場

四倉商市場の卅一日に於ける取引は二千五百五十七貫にて最高四十四圓十錢、最低三十一圓八十錢、馴三十六圓九十錢掛目卅八にて數量相場共に下り氣味である

平職業紹介所報告

- △求人を求める方
 - △書生 十七才迄 高卒以上 給料面談(平町某辯護士)
 - △小商店員 十六才 尋卒 給料面談(茨城縣某)
 - △女中 二十迄 尋卒 給料面談(平町某醫院)
 - △回 職を求める方
 - △女中 十四才 尋卒 給料面談(井村赤某)
 - △料理人 三十一才 尋卒 給料面談(茨城縣某)
 - △事務員 二十三才 乙商卒 給料面談(湯本町某)

滿鮮から一筆

(七)

釜山公會堂にて伊東

この驛では町の賣子が構内へ入つて種々商ひをして居る。この名物は鶏の丸焼だ、職もつを抜いて丸焼にしたのだ、玉子の油揚げだ、玉子は腐敗したものもあると云ふが四ッ串にさして油揚げしてある、鶏も其通りとして卵の方が十錢、鶏が三十錢だ、此外鼠の胎兒だとか熊の手の掌の乾いた

の等があると云ふが聞いた丈で腹が二ツ杯になつた。さて錦洲の街の入り口に飛行場がある、山海關の件があるので軍人も殊の外に眼につく、去年あたり錦洲はおろか奉天でも營口でも支那町を歩いて居ればすぐに支那巡査に引張られて行たので中に歩けないと云ふ事だつたが、今では

洲には日本の料理屋があるそばやが出来る、雜貨屋電氣時計酒屋等と既に日本商人が入り込んで中々豪勢なものだ、數日前日本人が一名天然痘にかつたとの事で日本人會前に種痘をやれと貼紙してあつたがだからと云つて誰も騒いで居る様様もないのが内地なら大騒ぎだらう五月の七八日頃だつた日中は中々の暑さだが夜の空は晴れて美しい月を見た、支那で見る月、内地で見る月も月には異りはないが異

郷で見ると特別になつかしい、室師團長の入城で寫真に見た錦洲城門を這入つて大廣寺と云ふ寺へ行つて見た錦洲入城は博覽會でもパノラマを造つた事があつた城は三百年前の築造と云ふ

寺内には 千年前のラマ教の塔があつた、この寺は二百年前に出来たと云つて境内には數十名の囚人が足を太い鎖で連がれて居つたこれ等は近中に皆斷罪に處せられると云つて居たが見るからにすごい老人

盗電を見付

金を捲き上げ

ニセ社員捕る

住所不定詐欺前科三犯宮城
縣遠田郡不動村生れ猪狩時
雄(三)は去る廿五日から卅
日にかけて郡内植田町外上
遠野、好間、神谷、磐崎の
各村にて電燈會社社員と稱
し各戸の電燈検査を爲し盜

暴る心配無用

盆祭を前に有難い知らせ

けふの二十十日も平穩

農家の危日である二十十日
のけふ平地方は朝からの晴
天で嵐どころか小雨の模様
もない、小名濱側候所の觀
測によると二十三日は全
然颱風の氣は無いと云ふ舊
盆を前に有難い知らせだ

書は童話會開催

夜は傳道に精進

駒澤大學照心會同人が

十月十六日から六日間

佛敎の駒澤大學照心會には
兒童の世界に呼び掛くる兒
童研究所及び傳道に精進す
る布敎部の設けがあるが鎌
田改源寺の高木補敎君が同
大學を來春卒業するので郷
士の爲めに兩部を招いて夫
々貢獻しやうとの意圖から
種々學校側に向つて斡旋の

事となり目録を行程プラン作
製中であると

けふから

平常通り

警中の授業

警中には従來本日第二學
期の始業式を擧げ正式授業
は明日から行つてゐたのを
今年よりは小檜山校長の發
議に依り改革し本日より平
常通りの授業を開始した

レビューに

一憧れて家出

双葉郡瀧田村字前澤二二草
野松郎姪クラヨ(三)はレビ
ューガールになり度いと昨

途中で逢つても

挨拶もしない婿

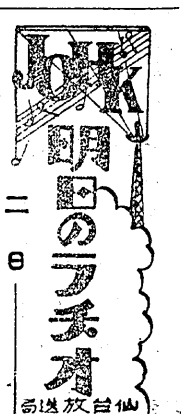
養父怒つて離縁の訴訟

石城郡赤井村大字西小川字
田頭五十五番地農鈴木與太
郎(三)は東京福田辯護士を
代理人として同所五十四番
地鈴木政長(三)を相手取り
本日平支部に離縁の請求訴
訟を提起したが事件の内容
は大正八年九月十八日被告
を長女フデの夫に迎へ一男
二女を儲けたが昭和三年十
二月フデが死亡したので隣

舊盆市内の雑踏を

小學生が出勤整理

平第一小學校高等科兒童一
同は來る四日舊盆十五日に
は午後一時より町内の要所
々々に甲斐々々しく出勤し



明日の天気
今晚も明日も南東
の風晴曇半し驟雨
模様

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
「お話と歌」永田秀次郎
女子放送合唱團
- 後六、二五 講演「大震災
十周年に當り非常時國民
諸君に訴ふ」法學博士
松井茂
- 後七、三〇 講演 大震災
レビューに

祭りの近づいた

境内を清掃する

平第一校生徒が八幡小路

平第一小學校高等科兒童は
祭典の近づいた縣社飯野八
幡神社の境内を來る十一、
十二の兩日清掃作業をする
と

炭礦は景氣でも

労働者の懐中は淋しい

理髮料値上却下の理由

石城理髮業組合磐城炭礦支
部員間では従來炭礦従業者
の料金を一般より安くして
居たが最近炭礦は活況を見
て居るから此際一般と同様
の賃金に値上げを許可され
度いと昨卅一日代表者が平
署に陳情したが炭礦は景氣
でも労働者の賃金は末だ値
上げになつて居ないとの理
由で却下された

秋刀魚早くも襲來

郡下各漁船解禁を待つて

一齊就業の準備

目下秋刀魚の大群は例年よ
り早く宮城縣金華山沖合迄
襲來して居るが既記の如く
本年より實施された漁獲制
限令の爲めに本日廿一日の
解禁日迄は網を打つ事が出

明日の部

- 前六、三〇 基督教講座
「キリストの自己觀」第三
講 尚綱女學校校長川口卯
吉
- 前七、三〇 夏期ドイツ語
講座(十八)三浦吉兵衛
- 前九、一〇 料理献立
- 前一〇、三〇 家庭講座
「吃音の話」終 石井漢
- 後〇、〇五 新日本音楽
「星月夜、清姫」金森高山
- 後二、〇〇 婦人講座「い

欺事件の公判は本日午前九
時より平區裁判所に於て清
田檢事より懲役一年の來刑
あつたが判決言渡しは來る
五日午前九時である

川部軍事講演 石城
郡川部村青年訓練所及び在
郷軍人分會主催の軍事講演
會は來る五日午前十時より
同村小學校に催される

警中野球座談 警中
野球部後援會では本日午後
七時よりマルトモホールに
於て學校側より校長及び部
長を迎へ座談會を開き今後
の方針を決定すると

警中野球場座談 警中
野球部後援會では本日午後
七時よりマルトモホールに
於て學校側より校長及び部
長を迎へ座談會を開き今後
の方針を決定すると

警中野球場座談 警中
野球部後援會では本日午後
七時よりマルトモホールに
於て學校側より校長及び部
長を迎へ座談會を開き今後
の方針を決定すると

警中野球場座談 警中
野球部後援會では本日午後
七時よりマルトモホールに
於て學校側より校長及び部
長を迎へ座談會を開き今後
の方針を決定すると

警中野球場座談 警中
野球部後援會では本日午後
七時よりマルトモホールに
於て學校側より校長及び部
長を迎へ座談會を開き今後
の方針を決定すると



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第三十一回 血に飢ゆる村正
大變な貰ひもの

百姓又助が

又「縁組に就て三つの御約束をいたした事がございませぬ、夫さへ御承知下されば生涯苦樂をともにいたします、其の御約束が出来ないと仰しやれば誠に残念ながらお断り申しますといふので」

平「ハア、少し面倒だ、條件付きの嫁だな、シテ三つの約束といふは何ういふ譯だ」

又「エー何處の國の生れでどういふ譯で獨りで居る等といふ身分をお尋ねなく、今日生れた者と思召して下さる様それが第一で」

平「ウム、第二は」

又「玉椿の八千代まで必ず離縁すまいといふ約束をして置きたい事」

平「夫は別に不都合の廉さへなければ、本人が何と申すとも組頭たる勝平太が離縁などはさせない」

又「夫からモウ一ケ條は、今ではございませぬが三年の間に頼みたい事がある、其時に承知して下さる様斯ういふ事で」

平「ウム三ケ條とも差支ないが、身分違ひの者で、あ

るまいな」

うと申上げた處が、夫をお嫌ひなすつて、アノ一軒家へ獨り住居をして、ほんのモウ近所の子供を集めて女ではあります、手習素讀の指南をしたり、針仕事を教へたりして細く其の目を送つて居ります、私がアノ御方に就いては何處までも御身分はお受合ひ申しますから」

平「然ういふ事ならば仔細なからう、どうだ源十郎、三ケ條承知するか」

源「エー宜しうござます、



りまして實家が滅亡いたして手前方へ尋ねてお出でになりました、夫ゆえ手前方では何處ぞえ御世話をし

三ケ條が十ケ條でも承知いたします、どうぞ宜しくお組頭願申します」

と早速に答をする、纏

み「宜い鹽梅に皆様可愛

がられて幸福でございませぬ」

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町 電一〇七

皆様 今年の御中元には何品を御撰びになりませうか。先づこの御家庭様からも喜ばれます。京茶器と銘茶大勝園 お撰び下さい。

茶器 壺 金二十八錢
大勝園 四半斤 金三十二錢
三丁目 大勝園 電三九六番

市原醫院
平町田町(電話二一四番)
内科小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科梅毒、淋病 市原三三男
入院隨時



胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前 家傳 靈効散(無効返) 金ス
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸に苦しむ方、輕病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價 試用分(八日分) 五十錢
重症用(四十五日) 四十五圓
平町古銀治町縣社ノ下
阿康藥舖
電話四四番